

**製品名: CD191 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82017**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	41.2kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD191
別名	CCR1; CKR1; CKR-1; HM145; CMKBR1; MIP1aR; SCYAR1
遺伝子 ID	1230.0
SwissProt ID	P32246
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD191 (AA: 追加ミックス) の精製された組み換え断片。

**背景**

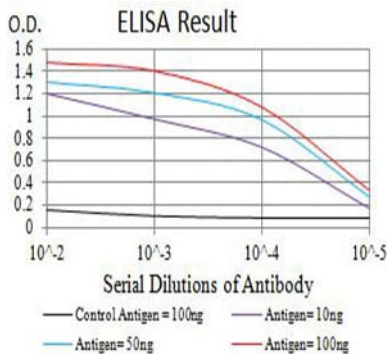
この遺伝子は、G タンパク質共役受容体に類似した 7 つの膜貫通タンパク質であると予測される、 $\beta$  ケモカイン受容体ファミリーのメンバーをコードしています。この受容体のリガンドには、マクロファージ炎症性タンパク質 1 $\alpha$  (MIP-1 $\alpha$ )、活性化制御性正常 T 細

胞発現・分泌タンパク質 (RANTES)、単球走化性タンパク質3 (MCP-3)、骨髄前駆細胞阻害因子1 (MIP1-1) などがあります。ケモカインとその受容体を介したシグナル伝達は、炎症部位へのエフェクター免疫細胞の動員に不可欠です。マウスホモログのノックアウト研究では、この遺伝子が炎症反応からの宿主防御、およびウイルスや寄生虫に対する感受性に関与していることが示唆されています。この遺伝子と、CCR2、CCRL2、CCR3、CCR5、CXCR1などの他のケモカイン受容体遺伝子は、染色体3p上で遺伝子クラスターを形成することが分かっています。

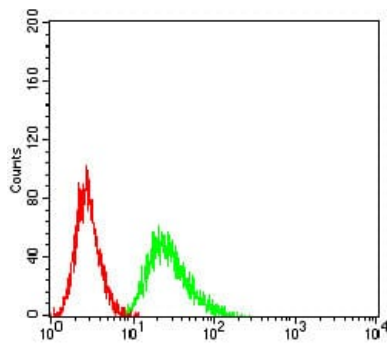
## 研究分野

Jak-STATシグナル伝達経路

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD191 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Ramos 細胞のフローサイトメトリー分析。